

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第134号(2015.02.19 発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【更新しました】平成 27 年度 CP ホームページ <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>

【更新しました】平成 27 年度 CS ホームページ <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

【皆様からのエッセー】

毎月 2 回配信しております CP 通信では皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構ですのでご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

エッセーご寄稿頂ける方はどなたでも結構ですので career-up@hue.ac.jp または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程等をご相談させていただきます。

【目次】

- ・巻頭言……………広島経済大学 経済学部
経営学科 准教授 広田 堅志
- ・CP 講義後の合同懇親会…糠谷先生『イスラム経済とイスラム金融』と増原先生『日本の財政破綻と金融政策』
- ・平成 27 年度(2015 年)のキャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)の HP を更新
- ・2015 年(次年度)1 学期 CP 授業計画(シラバス)のご紹介
 - 火曜日開講 『コーポレートファイナンス入門』…エントリー科目
 - 『確率・統計入門』…エントリー科目
- ・経大見聞録
- ・キャリアアップ・プログラムとカルチャー講座に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経営学科 准教授

広田 堅志

3 学期 CP 講師『実戦ビジネス中国語会話』

国際貿易分析研究の新たな視点

—付加価値貿易アプローチ

今日、世界的規模で進行している生産工程の細分化・工程内分業・地理的分散という国際分業の展開は、世界貿易に新たな局面を生み出した。最終財を製造する国は、他国で製造された中間財を輸入し、これら中間財を用いて製造(組立)した最終財を最終消費国へ輸出する。例えば Apple 社の iPhone は、各国の部品を中国の工場に集めて組み立てている。iPhone の本体の裏側に、「Designed by Apple in California Assembled in China」(カリフォルニア州でアップル社により設計され、中国で組み立てられた)と記されているとおり、「assembled」(組立てられた)という表現には、iPhone の製造は、生産工程の細分化・工程内分業・地理的分散が著しい国際分業体系の特徴がよく表れていると言える。この意味からすれば、企業がどの国に属しているのか、あるいはその製品がどの国で製造されたのかの重要性は低まっており、代わりに iPhone のような国際的な製品の生産に対し、それぞれの付加価値(VA, Value Added)をもつ部品がどの国から提供されているのかの重要性が高まってくる。

国際貿易をモノやサービスの流れではなく、それらの生産過程において付加された「価値」の流れとして捉えるのが、付加価値貿易アプローチの考え方である。上記の iPhone の例でいうと、右の図のように、2013 年の iPhone の世界全体の売上高は 913 億ドルに達している(Apple HP より)。平均単価は 607 ドルである。また同時に、HIS iSuppli の調査報告によれば、一台の iPhone 5s の製造コスト(最終組立を含む)は 199 ドルで、販売価格の 32%を占める。iPhone 全台分は中国の工場で組立てているが、一台のコストはわずか 8 ドル(中国で付加された付加価値分)に過ぎない。



このことから、従来の貿易収支の計測方法に対し、付加価値貿易の視点から大きな再考を迫ることになる。特に、2国間貿易収支の様相は大きく変化する。アジア経済研究所(IDE-JETRO)と世界貿易機関(WTO)が2011年に付加価値貿易に関する共同研究成果を公表して以来、当該研究に対する世界的な関心が急速に高まった。その後、経済協力開発機構(OECD)とWTOが共同で付加価値貿易ベースにおける統計(TiVA統計)を発表した。TiVA統計によれば、総額統計ベースでは、2009年の中国の対韓国貿易収支は556億ドルの赤字、対日本貿易収支は138億ドルの赤字、対米国貿易収支は1,890億ドルの黒字であるに対し、付加価値統計ベースでは、対韓国赤字額、対日本赤字額と対米国黒字額はそれぞれ、117億ドル(縮小率79%)、9億ドル(同93%)と1,265億ドル(同33%)までに縮小する結果となった。

輸出における国内付加価値と、輸出における中間財投入のデータを合わせてみると、中国の主要貿易相手国との貿易収支の状況も著しく異なることが明らかになる。中国の貿易の大きな特徴の一つは、日本をはじめとする東アジア諸国から高付加価値の中間財を輸入し、それを加工・組み立てして最終財として欧米へ輸出するという所謂三角貿易の構図となっていることである。この背景のもとで、従来の貿易統計では、中国は日本に対して貿易赤字を抱える一方、米国に対して巨額な貿易黒字を計上することとなっている。しかし、付加価値貿易の観点からすれば、米国向け輸出のうち、多くの輸入中間財(日本などその他国に帰属する付加価値)が含まれているのであり、この点を考慮に入れれば、対米貿易黒字の評価もいささか異なった面を見せるかもしれない。同じ理由で、中国が日本から輸入している多くの中間財は、最終的に最終財に組み込まれ米国へ再輸出されるため、日中間に直接現れる対日貿易赤字額も、日本からの中間財を使って製造される米国向け輸出の中で発生するありうる黒字部分を考慮に入れなくて、単に機械的に日中間貿易

の収支としてみただけでは、対日貿易赤字は過大評価されてしまう。

このように、付加価値貿易アプローチは、国際貿易における付加価値構造の真相を明らかにするのみならず、全く新しい通商政策の可能性を生み出しつつある。WTO 元事務次長のアレハンドロ・ハラ(Alejandro Jara)氏は、「国際貿易を映すテレビを、白黒からカラーに変える」という言い方で付加価値貿易アプローチが示唆する核心的内容を表現している。今後は世界的な関心の広がりとともに、国際機関や各国の研究機関によるさらなる掘下げた研究の発展を期待したい。

■CP 講義後の懇親会

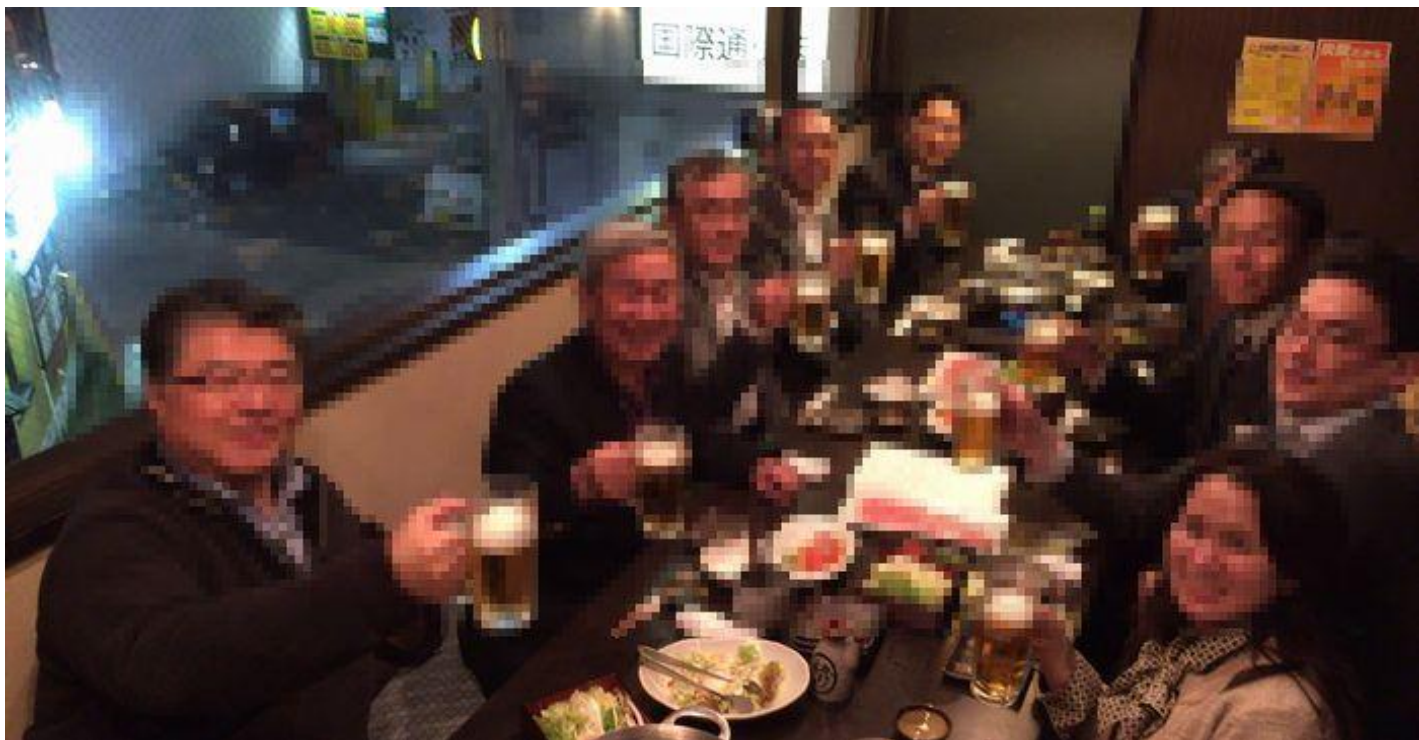
金曜日の講義『イスラム経済とイスラム金融』と『日本の財政破綻と金融政策』の受講生合同で、第3回目(2月6日)の講義終了後に懇親会を開催しました。

昨年の懇親会は6回目の講義終了後でしたが、今年は趣を変えて懇親会の名の通り、受講生同士、また受講生と講師の親睦を深め、親近感を持ちながら講義が受講できるようにと3回目の講義終了後に開催しました。

参加された講師、受講生の方々が講義終了後、時間を忘れて異業種間交流もキャリアアップ・プログラム受講の楽しみでもあります。憩いのひと時にご満足(?)いただけたようです。

文責:沖

高宏



■平成27年度(2015年)のキャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)のHPを更新しました。

5月からの講義は新規科目も9科目増えており、毎日のお仕事にきつとお役に立つこと請け合いです。

各学期の科目、CP/CSのチラシの閲覧、各学期の講義シラバス、受講者の声(抜粋)、CP通信のバックナンバー等がご覧いただけますので是非ご覧いただければと思います。

【CP ホームページ】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>

【CS ホームページ】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

※尚、お申込みの受け付けは本日から開始しますので宜しくお願いいたします。

■2015年(次年度)1学期 キャリアアップ・プログラム(CP)授業計画(シラバス)をご紹介します。

➤ 火曜日開講 『コーポレートファイナンス入門』…エントリー科目

『確率・統計入門』…エントリー科目

毎週火曜日(5/26,6/2,6/9,6/16,6/23,6/30…計6回)

科目名		コーポレートファイナンス入門
担当者		重本 洋一(しげもと よういち)
副題		企業財務や証券投資を初歩から学びたいあなたのために
対象者		企業によるお金の管理や運用、株式などへの証券投資について、興味はあるが知識はあまりなく、ゼロからその知識を学びたいと思っている方。これからファイナンスの世界に足を踏み入れたいと思っているが、難しそうでなかなか一歩を踏み出せない方。
到達目標		①企業財務と証券市場の大まかな関係を知ること。 ②コーポレートファイナンスの基本的な考え方を知ること。
概要		企業財務や証券投資について深く知るには、学習の最初の段階でファイナンスの知識の「大まかな地図」を頭に入れておくことが大切だと思います。この授業の目的は、受講生の皆さんが、その「大まかな地図」を描くことができるようになっていただくことです。そのため、授業ではファイナンスの基本的な考え方や独特の視点、企業と証券市場の関係などについての初歩的な知識を解説します。あくまでも、入門レベルの授業なので深くは立ち入りません。
授業内容	第1回	コーポレートファイナンスとは何か？ ～企業財務と証券市場の関係について考える～
	第2回	株とは何か？① ～株式会社の仕組みについて考える～
	第3回	株とは何か？② ～企業と株式市場の関係について考える～
	第4回	債券とは何か？ ～企業と債券市場の関係について考える～
	第5回	お金の価値とは何か？ ～貨幣の時間価値、資本コストについて考える～
	第6回	企業はどうお金を使うべきか？ ～企業の投資活動について考える～
授業の形式		座学
授業の進め方		授業はレクチャー方式で進めます。
教材費などの追加負担		教材費の負担はありません。
受講者へのメッセージ		授業は、時折雑談などを交えながら、フランクな雰囲気の中で進めていきたいと思っています。気軽に受講してください。授業に対する質問などは積極的に対応します。
講師紹介(自己紹介)		重本 洋一(経済学部 経済学科 教授 博士(経済学)) 広島生まれの広島育ち、コテコテの広島人で、大のカープファンです。広島市内のコーヒーショップを巡り、美味しいスイーツを食べ、コーヒーを飲むのが趣味です。 広島経済大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程単位取得満期退学 早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了 (ファイナンス修士(専門職) 早稲田大学) 広島大学大学院社会科学研究所社会経済システム専攻博士後期課程修了 (博士(経済学) 広島大学) 専門分野 コーポレートファイナンス 近著『経営者の会計操作の動機と株式市場の反応』日本評論社 2013年11月

科目名		確率・統計入門
担当者		前川 功一（まえかわ こういち）
副題		確率・統計を初歩から学び、生活や仕事に役立てたいと思っているあなたのために
対象者		学校で習った確率・統計を忘れてしまった、またはまったく習わなかった、しかも中学校レベルの数学の予備知識しか持っていないという方が、確率・統計を初歩から勉強して生活や仕事に役立てたいと思っているようなケースを想定して講義を組み立てる予定です。
到達目標		中学レベルの数学で確率・統計を分かりやすく説明し、最終的には受講者に皆さんが、簡単な中級レベルのデータ分析ができるようになっていただくことを目標にしています。
概要		グラフ、表、実際の統計データを用いながら確率・統計の考え方を中学レベルの数学の範囲で直感的に分かるように説明します。
授業内容	第1回	データの整理（度数分布表）と基本統計量（度数分布、平均、分散など）の計算と意味
	第2回	データのばらつきと集中度の尺度（標準偏差、ジニ係数）と標準化。偏差値の意味。
	第3回	確率に関する基本概念（事象と確率、確率変数、期待値、分散）
	第4回	確率分布（2項分布、ポアソン分布、正規分布など）とその応用
	第5回	相関分析、回帰分析
	第6回	確率・統計の様々な応用例
授業の形式		座学
授業の進め方		簡単な数値例、現実のデータなどを使って実際に表やグラフを作って見せながら、またいろいろな基本統計量を計算して見せながら講義を進めます。
教材費などの追加負担		教材費の負担はありません。 希望者には、参考図書「経済・経営系のためのよくわかる統計学」(朝倉書店)を定価の半額(1200円)で頒布します。
受講者へのメッセージ		数学の苦手な人にも理解してもらえるように講義するつもりです。この講義で使う数学を理解するためには、中学までの数学の知識があれば十分です。数式は外国語のようなものです。数式が出てきたら日本語に翻訳すればいいのです。この講義を通して、数式を日本語へ翻訳する方法を学んでください。
講師紹介 (自己紹介)		前川 功一(学長 経済学部 経済学科 教授 経済学博士) 1943年生。1967年広島大学政経学部(当時)卒業、1969年一橋大学大学院修士課程修了。以後広島大学に勤務。経済学部長、教育担当、財務担当副学長などを歴任後2007年同大学を定年退職。この間ロンドン大学、ウエスタンオンタリオ大学など海外の大学で研究。1997年Econometric Theory Award 受賞。2007年広島経済大学に就任。2008年学長就任。元・日本金融・証券計量・工学学会会長。統計学、計量経済学、計量ファイナンスが専門。国内、国外の専門雑誌に多数の論文を執筆。専門的研究のほかに統計学をやさしく解説することにも力を入れている。例えば教科書「経済・経営のためのよくわかる統計学」(朝倉書店)、一般向け解説記事「金融工学への誘い」(雑誌「広島人」)に連載。ホームページ http://www.hue.ac.jp/prfssr/rcfe/index.html にも掲載などがある。

■経大見聞録

本学の HP に掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。

URL をクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換にご覧ください。

【2/5】第四回プロジェクト研修会～明日から使える ACT 編「改善をカタチにするチカラ」～を開催いたしました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008591.html>

【2/9】平成 26 年度 部・サークル責任者研修会を実施しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008595.html>

【2/10】子ども達を守ろうプロジェクトが広島市立祇園小学校の全校児童から感謝状をいただきました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008604.html>

【2/13】若旅促進プロジェクトが「平成 26 年度若旅プロジェクト発表会」を行いました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008628.html>

【2/13】広島ハワイ文化交流プロジェクトがハワイに向けて出発しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000008632.html>

【2/18】東北支援プロジェクトが祇園公民館にて写真展「東日本大震災の記憶 私たちが見た東北」を開催しています

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000008636.html>

■キャリアアップ・プログラムとカルチャー講座に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学

教育・学習支援センター 教育支援課

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM